



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場会社名 日本梱包運輸倉庫株式会社
 コード番号 9072 URL <http://www.nikkon.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 黒岩 正勝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 森田 泰典
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3541-5331
 平成24年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	69,814	14.6	6,716	90.4	7,216	93.6	3,816	108.3
24年3月期第2四半期	60,920	△1.7	3,526	△27.2	3,726	△24.5	1,831	△34.4

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,238百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △798百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	54.80	54.72
24年3月期第2四半期	26.30	26.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	178,638	126,894	70.9
24年3月期	187,137	126,581	67.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 126,725百万円 24年3月期 126,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	8.00	—	14.00	22.00
25年3月期	—	12.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	137,000	4.8	12,000	17.8	12,800	13.6	7,800	27.6	112.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	74,239,892 株	24年3月期	74,239,892 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	4,600,948 株	24年3月期	4,600,619 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	69,639,051 株	24年3月期2Q	69,647,931 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要を背景に緩やかな回復傾向にあるものの、その回復は鈍化傾向にあり、欧州債務危機に伴う世界経済の減速、円高の長期化、電気料金の値上げ、外交問題などにより先行きの不透明感が強まっております。

当物流業界におきましても、震災からの復旧により貨物取扱量は回復しているものの、生産活動の弱まりや燃料価格の高騰が懸念され、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社グループにおきましても主要顧客である自動車業界の生産・販売が回復したことに加え、エコカー補助金等の政策効果や復興需要もあり、売上高は前年同期に比べ88億93百万円増の698億14百万円となりました。

営業利益につきましては、売上高の増加や業務の効率化を推進した結果、前年同期に比べ31億89百万円増の67億16百万円となりました。

経常利益につきましては、前年同期に比べ34億89百万円増の72億16百万円となりました。その要因といたしましては、営業外収益が持分法による投資利益の増加や営業所設備移設や福島原発事故による補償金などにより、前年同期に比べ2億22百万円増の9億78百万円となり、営業外費用が支払利息の減少などにより前年同期に比べ77百万円減の4億78百万円となったことによるものであります。

この結果、四半期純利益につきましては、前年同期に比べ19億84百万円増の38億16百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 運送事業

エコカー補助金の効果などにより、当社グループの主要顧客である自動車業界の貨物取扱量が回復したことや、中越テック㈱及び札幌新聞輸送㈱の2社が今年から決算期を12月から3月に変更したことに伴い、当第2四半期連結累計期間において9ヶ月分の財務諸表を連結したことなどにより、売上高は前年同期に比べ51億13百万円増の354億70百万円となりました。営業利益は、増収効果などにより前年同期に比べ8億91百万円増の18億66百万円となりました。

② 倉庫事業

保管貨物量の回復や新規業務の獲得などにより、売上高は前年同期に比べ11億27百万円増の99億53百万円となりました。営業利益は、保管効率の向上や固定費の削減などにより、前年同期に比べ4億48百万円増の25億44百万円となりました。

③ 梱包事業

当社グループの主要顧客である自動車業界の貨物取扱量が回復したことなどにより、売上高は前年同期に比べ18億3百万円増の167億67百万円となりました。営業利益は、売上高の増加や業務の効率化などにより前年同期に比べ9億76百万円増の14億38百万円となりました。

④ テスト事業

業務量の回復や新規業務の獲得により、売上高は前年同期に比べ11億26百万円増の51億39百万円となりました。営業利益は、従業員の増員に伴う人件費の増加等がありましたが、増収効果により前年同期に比べ4億19百万円増の3億62百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は490億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ50億62百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が32億1百万円、受取手形及び売掛金が17億72百万円、それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は1,295億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億35百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が4億58百万円増加した一方、投資有価証券が40億37百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は1,786億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ84億98百万円減少いたしました。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は381億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ66億45百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が50億77百万円、支払手形及び買掛金が48億23百万円、未払法人税等が7億48百万円、それぞれ減少した一方、電子記録債務が40億72百万円増加したことによるものであります。固定負債は136億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億65百万円減少いたしました。これは主に繰延税金負債が12億50百万円、長期借入金が7億72百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は517億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ88億10百万円減少いたしました。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,268億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億12百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が28億41百万円増加し、その他有価証券評価差額金が23億4百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は70.9%（前連結会計年度末は67.6%）となりました。

④ キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は190億78百万円となり、前連結会計年度末に比べて17億89百万円増加いたしました。

営業活動の結果得られた資金は57億26百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べ22億58百万円増加いたしました。これは主に、増加要因として税金等調整前四半期純利益が34億36百万円増加し、売上債権が30億90百万円減少した一方、減少要因として法人税等の支払額が19億49百万円増加し、その他の負債が19億70百万円減少したことによるものであります。

投資活動の結果得られた資金は31億52百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べ54億19百万円増加いたしました。これは主に定期預金の預入による支出が55億60百万円減少したことによるものであります。

財務活動の結果支出した資金は69億94百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べ53億33百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の返済による支出が51億52百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月9日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくため、実際の業績は今後様々な要因により記載の予想の数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の連結グループ各社の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（連結子会社の事業年度等に関する事項の変更）

従来、連結子会社のうち、中越テック㈱、札幌新聞輸送㈱、日梱物流（中国）有限公司、NK BRASIL LOGISTICA LTDA. 及びNKP MEXICO, S. A. DE C. V. の決算日は12月31日とし、連結財務諸表の作成に当たっては同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行ってまいりました。この度、より実態に即した経営情報を把握するために、第1四半期連結会計期間より、決算日変更の対応が可能となった中越テック㈱及び札幌新聞輸送㈱について、決算日を3月31日に変更しております。これにより、中越テック㈱及び札幌新聞輸送㈱については、平成24年1月1日から平成24年9月30日までの財務諸表を連結しております。

この結果、当連結会計累計期間の売上高が15億16百万円、営業利益が1億21百万円、経常利益が1億50百万円、税金等調整前四半期純利益が1億63百万円それぞれ増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,666	10,465
受取手形及び売掛金	27,089	25,317
有価証券	9,819	10,155
商品及び製品	10	6
原材料及び貯蔵品	475	385
繰延税金資産	1,469	1,182
その他	1,602	1,557
貸倒引当金	△14	△12
流動資産合計	54,119	49,056
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	39,240	38,476
機械装置及び運搬具（純額）	1,967	1,987
工具、器具及び備品（純額）	704	784
土地	61,943	62,495
リース資産（純額）	127	174
建設仮勘定	676	1,198
有形固定資産合計	104,659	105,117
無形固定資産		
投資その他の資産	1,435	1,574
投資有価証券	23,500	19,462
長期貸付金	128	115
繰延税金資産	1,650	1,686
その他	1,760	1,755
貸倒引当金	△115	△129
投資その他の資産合計	26,924	22,890
固定資産合計	133,018	129,582
資産合計	187,137	178,638

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,393	7,570
電子記録債務	—	4,072
短期借入金	7,180	2,102
1年内償還予定の社債	10,400	10,400
リース債務	59	69
未払法人税等	3,244	2,496
賞与引当金	2,485	2,605
役員賞与引当金	150	71
設備関係支払手形	627	1,110
その他	8,231	7,628
流動負債合計	44,773	38,128
固定負債		
社債	400	200
長期借入金	4,688	3,916
リース債務	70	112
繰延税金負債	4,124	2,874
退職給付引当金	5,289	5,400
役員退職慰労引当金	227	167
その他	980	945
固定負債合計	15,782	13,616
負債合計	60,555	51,744
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,316	11,316
資本剰余金	12,332	12,332
利益剰余金	103,773	106,615
自己株式	△6,136	△6,137
株主資本合計	121,285	124,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,134	4,829
為替換算調整勘定	△1,960	△2,231
その他の包括利益累計額合計	5,173	2,598
新株予約権	63	120
少数株主持分	58	48
純資産合計	126,581	126,894
負債純資産合計	187,137	178,638

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	60,920	69,814
売上原価	53,948	59,753
売上総利益	6,971	10,060
販売費及び一般管理費	3,444	3,344
営業利益	3,526	6,716
営業外収益		
受取利息	115	83
受取配当金	163	192
受取賃貸料	35	36
持分法による投資利益	104	164
受取補償金	—	155
雑収入	337	347
営業外収益合計	755	978
営業外費用		
支払利息	179	112
為替差損	137	98
投資有価証券評価損	203	222
雑支出	35	45
営業外費用合計	555	478
経常利益	3,726	7,216
特別利益		
固定資産売却益	53	72
負ののれん発生益	—	2
特別利益合計	53	75
特別損失		
固定資産売却損	5	3
固定資産除却損	16	48
投資有価証券評価損	—	2
投資有価証券売却損	116	1
持分変動損失	7	—
災害による損失	87	—
厚生年金基金脱退拠出金	—	250
特別損失合計	231	307
税金等調整前四半期純利益	3,547	6,984
法人税等	1,781	3,170
少数株主損益調整前四半期純利益	1,765	3,813
少数株主損失(△)	△65	△2
四半期純利益	1,831	3,816

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,765	3,813
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△1,931	△2,304
為替換算調整勘定	△637	△278
持分法適用会社に対する持分相当額	4	7
その他の包括利益合計	△2,564	△2,575
四半期包括利益	△798	1,238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△736	1,240
少数株主に係る四半期包括利益	△61	△2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,547	6,984
減価償却費	2,476	2,296
のれん償却額	27	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	20	119
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△84	△78
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△14	11
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	41	110
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△644	△60
受取利息及び受取配当金	△278	△276
支払利息	179	112
持分法による投資損益 (△は益)	△104	△164
負ののれん発生益	—	△2
固定資産売却損益 (△は益)	△47	△69
災害による損失	87	—
厚生年金基金脱退拠出金	—	250
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,381	1,709
その他の資産の増減額 (△は増加)	169	145
仕入債務の増減額 (△は減少)	384	△681
その他の負債の増減額 (△は減少)	385	△1,585
その他	422	302
小計	5,185	9,125
利息及び配当金の受取額	417	451
利息の支払額	△178	△106
災害損失の支払額	△329	—
法人税等の支払額	△1,627	△3,577
厚生年金基金脱退拠出金の支払額	—	△166
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,467	5,726
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,109	△549
定期預金の払戻による収入	3,105	2,137
有価証券の取得による支出	△6,010	△201
有価証券の売却による収入	9,327	3,503
有形固定資産の取得による支出	△1,490	△1,574
有形固定資産の売却による収入	264	182
無形固定資産の取得による支出	△0	△26
投資有価証券の取得による支出	△1,788	△342
投資有価証券の売却による収入	221	4
貸付けによる支出	△22	△20
貸付金の回収による収入	234	41
子会社の自己株式の取得による支出	—	△3
その他	1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,266	3,152

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,306	3,060
短期借入金の返済による支出	△1,276	△3,000
長期借入れによる収入	60	—
長期借入金の返済による支出	△756	△5,909
社債の償還による支出	△200	△200
自己株式の取得・売却による収支	△1	△0
配当金の支払額	△766	△974
少数株主への配当金の支払額	△8	△1
その他	△17	31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,661	△6,994
現金及び現金同等物に係る換算差額	△122	△108
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△582	1,775
現金及び現金同等物の期首残高	12,332	17,289
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	13
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,749	19,078

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	運送事業	倉庫事業	梱包事業	テスト事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	30,357	8,825	14,964	4,013	58,159	2,760	60,920
セグメント間の内部 売上高又は振替高	70	156	237	2	467	554	1,021
計	30,428	8,982	15,201	4,015	58,627	3,314	61,942
セグメント利益 又は損失(△)	974	2,095	462	△57	3,475	△85	3,389

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通関事業及び自動車の修理事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,475
「その他」の区分の損失	△85
その他の調整額(注)	136
四半期連結損益計算書の営業利益	3,526

(注) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	運送事業	倉庫事業	梱包事業	テスト事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	35,470	9,953	16,767	5,139	67,330	2,483	69,814
セグメント間の内部 売上高又は振替高	53	101	196	—	351	500	852
計	35,524	10,054	16,963	5,139	67,682	2,984	70,666
セグメント利益	1,866	2,544	1,438	362	6,211	359	6,570

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通関事業及び自動車の修理事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	6,211
「その他」の区分の利益	359
その他の調整額(注)	145
四半期連結損益計算書の営業利益	6,716

（注）その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。